

CLEANTECH NEWS

クリーンテック通信

地域の皆様に安心をお届けする

ISO 14001 認証取得
飯坂クリーンサイト

2026 VOL. 89
SUMMER

毎年 1・4・7・10月発行 株式会社 クリーンテック 発行責任者/反後 太郎 福島市飯坂町中野字赤落27番 TEL 024(541)2811

ごみの「減量」と「分別」を考える

ごみ集積所のごみ袋に黄色の違反シールや赤色の警告シールが貼られているのを見かけませんか？
これは2025年3月に福島市で始まった新しいごみ減量強化の取り組みによるものです。今回は市の現状とごみ減量強化の取り組みから、改めてごみの「減量」と「分別」について考えます。

福島市の現状

一般廃棄物排出量

2023年度の福島市における1人1日当たりの一般廃棄物排出量は、人口10万人以上の257都市のうちワースト18位となりました。ワースト1位となった2015年以降、排出量は年々減少し、2024年度にはついに1,000gを下回りましたが、全国平均839gと比較するとまだ高い水準にあります。

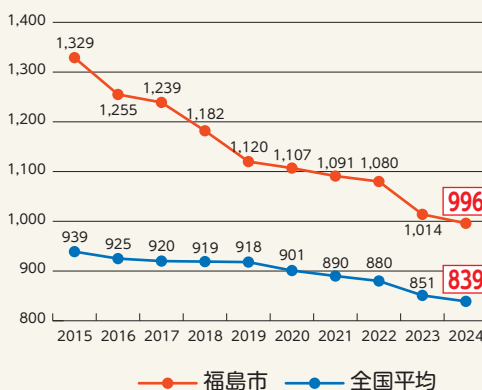
ごみの処理費用

福島市の1人当たりの処理費用は、2023年度までの6年間で約13,000円から約16,000円へ上昇しました。この背景には、処理施設の維持管理費や社会情勢による燃料費の高騰などがあると考えられます。

年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1人当たりの処理経費(円)	13,156	13,699	13,932	14,666	15,592	16,251

出所：福島市一般廃棄物処理基本計画【素案】(福島市HP)

1人1日当たりのごみ排出量(g/人・日)



出所：一般廃棄物処理実態調査(環境省HP)

ごみの減量・分別を徹底することはごみ処理費用を抑制することにもつながるよ！

福島市の新しいごみ減量強化の取り組み

1 分別名称をリニューアル！

「資源」意識の強化

資源化の意識付けを強化するため、「燃える／燃えない」から「資源にできる／できない」という視点に基準を変えました。

資源物 → リサイクルできる 資源物
可燃ごみ → 資源にできない 燃やすごみ
不燃ごみ → 資源にできない 埋めるごみ

2 開封調査の実施

処理設備更新費用の縮小 (最終処分場の延命化含む)

分別ルールの厳守を促すため、市では必要に応じて開封調査を実施し、悪質なケースには指導や氏名公表を行う等の規定も追加されました。ごみを正しく分別し、減量することは、最終処分場の延命化にもつながります。厳しい措置かもしれませんが、それほど分別の徹底が急務となっているのです。

詳しい取り組み
内容は
こちら



▲福島市HP

ごみを減らす
ためにできる
3R

リデュース

- 詰め替え商品の使用
- マイバックの使用

ごみの発生を減らす

リユース

- 不用品をフリマに活用
- 容器を小物入れに再利用

ものを繰り返し使用

リサイクル

- ルールに従って分別
- リサイクル品を選ぶ

使い終わったものを再利用

どんなに仕組みが整っても、「資源として分ける意識と習慣」が広がらなければ意味はありません。「分別」はごみの量そのものを大きく減らすものではありませんが、焼却や埋立に回る量を減らし、結果として処理費用や環境負荷を抑えることにつながります。「ごみ」として捨てる前に「資源」になるかどうか、一度確かめてみませんか？

利用したことがありますか？

～小型家電回収ボックス～

「充電式電池」は、これまで福島市では収集できない品目でした。2025(令和7)年3月1日から市内40か所に設置するオレンジ色の小型家電回収ボックスで拠点回収を始めています。



併せて、「乾電池類」は、従来の「不燃ごみ」から、**「リサイクルできる資源物」**になり、回収日は**「資源全品の日」**に変更されています。集積所へ、資源の種類ごとに袋をわけて出しましょう。

詳しいルールはこちら▶



福島市HP

資源はどこから来ているの？

リチウムイオン電池

リチウムイオン電池に使用されるコバルトの多く(約70%)は、コンゴ民主共和国で採掘されています。

同国は貧困や地域紛争といった課題を抱えており、特に一部の採掘現場では、児童労働や劣悪な労働環境が問題となっています。また、コバルトの粉じんの吸入や皮膚接触による健康被害のリスクも指摘されています。



コンゴ民主共和国

安全・安心のために

2025年11月5日、福島市廃棄物対策課が来場し、廃棄物(燃え殻)を採取されました。

検査結果は以下の通り、全て基準値以内でした。
福島市による燃え殻採取▶



■燃え殻 (採取日 2025年11月5日)

分析対象項目 (抜粋)	分析の結果 (mg/L)	基準値 (mg/L)
カドミウム	検出せず	0.09以下
シアン化合物	検出せず	1.0以下
鉛	検出せず	0.3以下
六価クロム化合物	検出せず	1.5以下
砒素	検出せず	0.3以下
総水銀	検出せず	0.005以下
アルキル水銀化合物	検出せず	不検出
P C B	検出せず	0.003以下

※福島市との環境保全協定に基づき、当社では、マニフェスト(産業廃棄物管理票)の確認や水質データの確認調査を定期的に受けております。

■各行政機関による立入り (2026年3月～2026年5月)

月 日	行政機関	目 的
2026年 4 月14日(火)	福島県産業廃棄物課	施設見学
2026年 4 月14日(火)	福島市廃棄物対策課	立入調査【マニフェスト等書類確認】
2026年 5 月14日(木)	福島市廃棄物対策課	立入調査【第一期・第二期上下地下水サンプリング、廃棄物サンプリング】
2026年 5 月20日(水)	福島市環境部、操業安全対策会議の方	立入調査

法規定及び福島市との『環境保全協定書』に基づき、放流水の水質を定期的に測定しています。毎月2回測定(測定は外部専門会社へ委託)している以下の項目は、直近の3ヵ月(3月～5月)は法及び協定書いずれに対しても基準値以内でした。 ※3ヵ月で最も新しいデータ(2026年5月13日採水)

水質検査報告

	放流水(水処理後)		
	第1期測定値	第2期測定値	法規定基準値(※1)
B O D	1 mg/L未満	1 mg/L未満	60 mg/L
C O D	4 mg/L	3 mg/L	
S S	1 mg/L未満	1 mg/L未満	60 mg/L
大腸菌数	1 CFU/mL未満	1 CFU/mL未満	800 CFU/mL

B O D⇒水中の有機物が好気性微生物により分解される時に消費される酸素の量、少数値が良い

C O D⇒水中の有機物等を酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素の量に換算したもの、少数値が良い

S S ⇒水中に浮いている直径2mm以下の粒子状物質の量、少数値が良い

※1 一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令

放射能管理状況 (2026年3月～2026年5月の3ヵ月実績)

※場内、放流水、地下水、搬入廃棄物の放射線量等測定結果

測定対象		測定項目	測定頻度	測定結果(カッコ内は平均値)
場内	埋立場所	放射線量	毎日1回	0.03～0.21 μ Sv/h (0.09)
	処分場周辺	放射線量	週1回	0.04～0.21 μ Sv/h (0.12)
放 流 水		放射性物質	月2回	不検出
地 下 水		放射性物質	月1回	不検出
搬入廃棄物		放射線量	全車両	0.018～0.420 μ Sv/h (0.12)



ニューフェイス 社員紹介 NEW FACE

施設管理部水質管理課 渡部 隼斗

自然や動物が身近にある環境や、地域に関わる仕事に関心を持ち、今の仕事に転職しました。前職では自動車板金塗装の仕事をしていました。まったく違う業種に来たため、慣れない業務を一つずつ習得しながら日々取り組んでいます。入社して1年半が経ち、できる業務の幅も徐々に広がってきました。

現在は、ポンプの定期整備や薬品在庫の管理を担当しています。

覚えることも多いですが、先輩方のご指導のもと、さらに経験を積み、早く戦力として貢献できるよう努めていきます。



飯坂地区ソフトボールにも参加してきました。体を動かす機会が少ないため、良い運動になりました。

お問い合わせ
相談窓口

〒960-0261 福島市飯坂町中野字赤落27番
TEL 024-541-2811 FAX 024-541-2510
各種お問い合わせはホームページをご覧ください。▶ <https://www.clean.ne.jp>

許可品目

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)、及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、政令第2条第13号に掲げるもの(これらのうち、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等、水銀使用製品産業廃棄物及び自動車等破砕物を含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上13種類